

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	「遊楽館」平岡 1階	評価実施年月日	平成21年7月14日
評価実施構成員氏名	市野真美子 小林光子 木元久美子 佐々木弘和 藤井真知子 澤田香 尾崎美雪 大林宏康 高橋節子		
記録者氏名	小林 光子	記録年月日	平成21年7月21日

北 海 道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p> <p>運営方針(理念)の中で地域との絆を大切にすると共に、その人らしさを尊重するよう唱えられている。</p>		実践につなげるよう継続して努める
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p> <p>朝、夕の申し送りで理念を唱和。会議等で抜粋し投げかけ、省みて日々実践に取り組んでいる。</p>		継続する
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。</p> <p>家族には入居前、入居後常に理解されるよう取り組んでいる。運営推進会議の他、地域の婦人部等の活動の中で話をさせていただき理解を求め取り組んでいる。</p>		ホームの紹介等行える機会を増やし、地域への取り組みを検討していく
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p> <p>ゴミだし、散歩時など挨拶したり、気軽に声をかけられるが、立ち寄ってもらえるような日常的付き合いはない。</p>	○	気軽に立ち寄れるような雰囲気を作り、声をかけていきたい。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p> <p>町内会に参加し、回覧板等で地域の様子を知り、町内の清掃に参加している。</p>		参加する場を増やせるよう、地域に投げかけていく。
6	<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p> <p>事業者として建物の構造が鉄筋のため、自然災害時等の避難場所として可能と思われる。また、迷われた高齢者の一時預かり等に対応、協力したことあり。</p>		更に何ができるか検討したい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>自己評価を作成する時点で項目毎に省みて、改めて取り組むようにしている。前年の評価を活かして、分野毎改善に取り組んでいる。</p>		<p>取り組みを省みる機会として、より良いものを目指すよう活用していく</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>会議では評価に目を通していただいている。開催の都度報告し、意見、感想を述べていただいている。</p>		<p>会議参加者だけではなく、他の方の意見、感想を聞ける場を設けたい。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>頻繁ではないが、地域包括支援センターの担当者に相談させていただいている。</p>		<p>相談する場、機会を増やしていきたい。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>成年後見制度については、管理者が主として入居者の制度利用に協力、支援している。</p>	○	<p>地域権利擁護事業に関しては、学ぶ機会を持ちたい</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>外部研修で学ぶ機会はある。虐待はあり得ない事と防止の徹底には努めている。</p>		<p>防止の徹底に継続して努める。</p>
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>契約時には十分な時間をとり、全文読み合わせをして、更に補足説明をし、質問に答え理解を得ての締結に努めている。解約時も同様。</p>		<p>丁寧な説明など時間を十分にとることを継続して、新加算等理解をるよう努める</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	重要事項説明書に内部、外部の苦情窓口を明記している。職員が受けたものは管理者が利用者の意向を確認して、再度職員に伝え今後の取り組みに活かしている。		更に時間を重ねて都度思いを汲み取るよう努める
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	特変事項に関しては都度速やかに報告、状況説明をしている。金銭については出納帳を定期的に確認していただいている。その他、来訪時には個々に合わせた報告をしている。		家族とのこまめな連携を継続し、更に信頼、理解を得られるよう努める。
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	重要事項説明書に内部、外部の苦情窓口を明記している。職員が受けたものは管理者が家族等の意向を確認して、再度職員に伝え今後の取り組みに活かしている。		率直に意見を言っていただけるように、相談等をまめにしていきたい。
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	明確に運営をテーマとする会議を設けていないが介護保険改正に伴い関係事項は運営側より説明している。	○	より良いホーム作りという視点で話し合うことは継続していく
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	緊急時も含め、職員同士の協力あり調整している。		状況に応じた調整を継続していく
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	異動、離職を必要最小限に抑える努力をしている。管理者は異動に関してはその旨運営側に伝え、理解を求めている。利用者、家族には十分配慮している。		異動、離職は最小限に取り組むことを継続

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	内部、外部研修の機会は設けている。	継続して研修の機会は設け、より多くの職員が受けられるよう計画したい
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	清田区内のグループホーム職員で行う、勉強会に参加している。	区内の管理者連絡会で交流機会を計画しているので参加していきたい
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	休日を年108日と就業規則に定め、月9日心身の休養を考慮している。職員主体の親睦会に運営者は協力的である。喫煙場所を定めて提供している。ニセコの利用も増えている。	職員が利用できる保養所(ニセコ)など福利厚生充実
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	個々に必要な心がけを投げかけ、状況を把握し、意欲向上するように努めている。個々に話しを聞く場を設けている。	理念でも唱えられているので、継続して取り組む
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	会話、表情等から、本人の困っていること、不安に思うことを察知、傾聴するよう努めている。	更に時間を重ねて都度思いを汲み取るよう努める
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	ご家族来訪時は近況報告している。要望、気にかかること等お伺いし、ケアにあたるよう努めている。	継続して取り組む

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	初期の段階で本人の必要としていること、不便なこと等お伺いしている。現状においては、他のサービス利用の取り組みはない		他のサービスが必要となる場合、本人、家族に確認、対応に努める
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入居前に本人、家族からできるだけ情報を得て、希望を確認し入居時にケアプラン説明をして、同意を得ている。		継続して入居時よりプラン作成し、本人、家族が安心できるよう努める。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	ケアにあたるばかりではなく、入居者からも、「手伝うよ」「何かさせて」との声があり、色々な場面で学ぶことが多く、共に支えあう関係を築いている。		その人らしさを大切に共に暮らすことを意識していい関係を築くよう継続する
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族来訪時は細かな状況をお伝えし、職員にも相談しやすい雰囲気を心掛けています。ご家族の希望により、来訪時にケース記録を確認していただいている。		来訪機会の少ない家族には広報誌等送る際一筆加えて状況を伝えていく
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	本人、家族それぞれと話しをして、家族の状況を理解し個々に合わせた支援をしている。		家族関係を十分理解して伝え方に配慮していく
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	来訪者などの対応には気配りをし、また、いつでも来訪していただけるよう声がけ対応するよう努めている。家族、知人との外出時等も必要な支援をしている。一時帰宅される方の支援をしている。希望により入居前に利用していた馴染みの美容室にお連れしている。		継続していく

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	お茶やおやつの時間を作り、リビングで召し上がって頂いている。手芸、ゲーム等共通の趣味の場を作り、入居者同士教えあっていたりする。		負担にされる方がないよう支援していく
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	ご家族の方から、退去後の様子等を教えてくださっている。		必要に応じて継続して対応していく
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	色々な場面で、本人に選択していただけるよう心掛けています。個々に思いを受け止めるよう努めている		会議、ケアカンファレンス等で本人の思いや意向の把握、確認を継続していく。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前に家族、関係機関の協力により情報を得て、更にセンター方式のシートを活用してその方らしさを大切にしよう努めている。		継続していく
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	申し送り、ケース記録、連絡帳等により把握している。またユニット会議でも意見交換している。		継続していく
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ご家族、本人の思い、要望をお伺いし、会議でカンファレンスを行い介護計画を作成している。		情報収集が担当が主とならないよう更にチームでカンファレンスを大切にしていこう。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	三ヶ月ごとに行っている。また状態に変化があり、必要と判断した場合は随時プランに追加している。		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の言動、気になることはケースに記入しており、ケアプラン見直し時は、D3、D4シートにパートナー全員で記入し活かしている。		変化、新しい気づきを都度各シートに追加記入して活かしていきたい
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	家族の宿泊希望に応じている。		家族の要望には速やかに検討していく
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	本人の必要性に応じて民生委員の協力を得たり、消防に避難訓練の指導を受けるなどしている。月1回のギターボランティアの利用。		ボランティアの幅広い利用をしていきたい。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	福祉用具等の必要性に応じて、本人、家族に代わり問い合わせ、利用している。		本人にとって必要と思われる他のサービスの有無を確認していく。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議時を終えた後などに相談し、アドバイスを受けたりしている。		権利擁護に関して学んでいきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援をしている。	本人、家族の希望に応じ受診病院を検討、受診している。事業所の提携医は夜間、休日都度相談対応可能であり、他病院への紹介等含め、個々に適切な受診支援をしている。		提携医からの紹介等を利用し適切な受診を意識していくことを継続
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	地域において専門医と称する医師がいない。	○	認知症に関して相談できる担当医を確保したい。
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	事業所として看護師を確保しており、相談して支援している。		同じ職員同士として身近に相談できる体制を継続、支援していく
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	直接、または家族を通して状況把握し、こちらの希望を病院に伝え相談している。		日常生活にスムーズに戻れるよう状況確認し適切な支援に努める
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	医療連携に取り組んだばかりで、家族等に医療機関等含め綿密な確認が必要の旨、説明している。早急な該当ケースがないため具体的な話し合いの場は現時点ではない。	○	本人、家族の希望を確認して、チームとして方針を共有し、対応したい。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	かかりつけ医、看護師の確保をし、チームとしての支援に取り組む姿勢はあるが、該当ケースはまだない。	○	「できること、できないこと」を見極め、慎重に検討していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>必要な情報提供を速やかに行っている。</p>		<p>必要な情報交換、家族との相談を継続していく</p>
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>声掛け、ケアの対応など本人の自尊心を損ねないように常に配慮している。(本人に聞こえる声の質、他人の目にふれないケア等)個人情報に関するファイルは施錠して保管、日常の記録も保管に配慮している</p>		<p>共同生活の中で個々を尊重していくことを継続</p>
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>本人に選択していただくよう声がけしている。言葉で表現できる方、出来ない方などその方の表現の仕方を把握し、個々に合わせた対応支援をしている。</p>		<p>個々の思いの表現の仕方を理解し、声かけなどの工夫を継続する</p>
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>夜勤者一人の勤務時間帯以外はできるだけ希望に副うようにしているが、違う希望が重なったり、特変等により希望に副えず気分を落させてしまうことがある。できるだけ、速やかに対応し、落ち着いていただくよう努めている。職員は時間等で動くことはないよう努めている。</p>		<p>「あなたの生活のリズムを大切にします」の理念に沿った支援を継続する</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>本人の希望に応じ知人に頼んだり、近所の美容室、訪問美容を利用されたり、家族が関わられたり、個々の希望に応じている。入居前から行かれていた美容室にお連れしている方もいる。</p>		<p>様々な形で利用できるように継続していきたい。</p>
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>調理の手伝いをしていたり、食器拭きを日課にされている方もいる。好みには配慮して別メニューで対応するようにしている。硬さ、大きさ、とろみ等個々に合わせた形体にも配慮している。季節感のある食材などで、話題も含め提供している。</p>		<p>個々の嗜好、色合いなど雰囲気も楽しめるよう継続して努める</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	お酒、たばこは身体に支障なく家族の了承があればたしなんでいる。好みなど希望を聞いておやつを用意するときもあるが、職員が決めて提供するときもある。		入居者に選択してもらうように更に継続していく
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	個々の排泄パターンを把握し、個別対応している。		失禁時の更衣時等、他入居者の目に触れないよう徹底した配慮を継続
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	入居者の受診などがある場合は希望に沿えないこともあるが、可能な限りは希望をお伺いし入浴をして頂けるよう努めている。曜日、時間の決め事はない		今後も可能な限り、入居者の希望に合わせて支援していく。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	日中の活動、働きかけを行い、生活のリズムを整えるよう努めている。不安な様子の時は、安心できるまで話を聞いている。		不安のない生活のリズムに配慮していく
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	入居者一人ひとりの得手とされる分野を見極め支援している。		色々な分野を紹介し、選択、自己決定していただいで楽しんでいただく
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ホーム預かりとし、必要時渡している。手元にお金がないと不安な方については、ご家族と相談し、小額を置いて安心して頂けるよう努めている。入居者自ら支払いなども行い、自身につながっている		今後も継続していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	買い物、散歩、外食については希望をお伺いしている。		今後も可能な限り希望に沿えるよう支援し、外出されようとする方への配慮の継続
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	特定の入居者にかたよりがちになっている。	○	全入居者の希望に沿うよう支援していきたい。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	いつでもご家族と連絡取れるようにしている。手紙については本人やご家族に渡ししている。居室に電話はひけるように設備されている。		継続する
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	宿泊されるご家族もおり、訪問時、利用できる和室もある。		気兼ねなく来て頂けるような雰囲気作りに努めている。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束を行わないことは全職員が認識している。身体拘束ゼロの手引きを基にしている。		徹底して継続する
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中は玄関の施錠は行っていない。ユニットの入り口も施錠は行っておらず、自由に出入りできるようになっている。		夜間の侵入者を防ぐ目的以外の施錠はせず継続

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○利用者の安全確認</p> <p>67 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>様子確認は行い記録している。拘束感を与えないような見守り、声がけに配慮している。</p>		<p>まめな様子観察を継続していく</p>
<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>68 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>鍵のかかる場所に保管している。一人一人の状況に応じてはさみなどの保管を把握している。家族の協力を得ている。</p>		<p>個々の状況の変化に気をつけて、危険物の保管を検討していく</p>
<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>69 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>マニュアルを作成しているが、その場の実践につなげる努力が必要。</p>		<p>熟読、勉強会などで職員の能力向上を図りたい。</p>
<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>70 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>	<p>消防の研修を受けている。(普通救命講習) AEDを設置し、講習を受けている。</p>		<p>いざという時に実践できるよう心がけていきたい。</p>
<p>○災害対策</p> <p>71 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p>	<p>消防署より訓練を受けているが、地域への協力要請は不十分である。</p>	○	<p>地域への働きかけを十分にしていきたい。</p>
<p>○リスク対応に関する家族との話し合い</p> <p>72 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。</p>	<p>家族にはリスクについて説明している。本人の思いをくみ取りながらのケアであることも含め、理解いただくようお話ししている。</p>		<p>状況をこまめに伝えていくことを継続していく</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日バイタル測定をし記録に残している。会話、表情などからも察知、速やかに対応できるよう努めている。		職員間での情報交換を更に強めていきたい。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	処方箋をファイルし、いつでも目を通せる状態にしている。変化にも医師への相談等対応している。		事前情報や服用している薬などから禁じられているものを把握していく。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	運動などを行い、可能な限り自然排便をうながすよう取り組んでいる。		更なる食事の工夫も検討していきたい。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	食後に声かけにより、汚れや予防のため医師の指示のもと、職員が一部介助、仕上げを行っている。		歯科医の指導の下、入居者の自発性をすすめ継続する
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	個々の食事量、水分チェックは行っている。記録をし状況の変化を把握して対応できるように努めており、習慣を把握している。栄養バランスの配慮、工夫もされている。	○	カロリー過多にならないよう工夫していく。塩分調整にも更に配慮していく。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアル作成されており、実施されている。手洗い、うがい、消毒は習慣化されている		手洗い、うがいなど習慣化しているが、予防の徹底に継続して努める

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	毎日、または定期的に消毒を行っている。賞味期限の確認を徹底している。		今後も継続、衛生管理は徹底していきたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	スロープ、ロードヒーティングがある。玄関周辺にベンチを置き、散歩の際、休憩できる所を用意している。花を眺めながら玄関に入るように花を植えている。		入居者の希望を聞きながら雰囲気作りをしていく
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	玄関ホールには本棚を設置している。散歩時摘んだ花をリビングのテーブルに飾るなど季節感を得られるようにもしている。		照明などに配慮し、清潔に心地よい場所の提供を継続する。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	休憩コーナーや和室を設けており、リラックスできるよう支援している。		気兼ねなく過ごしていただくよう工夫していく
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居者一人ひとり、今まで使用していたものを用意して頂いている。		家族の協力を得ながら継続していく
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	空気清浄機を使用、温度調節は外気温との温度差を考え、調節、換気等を行っている。個別に居室の温度にも配慮している。		におい、温度には十分配慮していく

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	建物はバリアフリーで手すりをつけ安全に備えている。本人の出来ること、出来ないことを把握し、極力必要以上の手をださないよう安全かつ自立支援に努めている。		本人の負担になってないか確認しながら支援していく
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	のれん、プレートなど目印等つけることで場所間違いを防止でき、失敗、混乱を防ぐ為の努力は行っている		混乱、失敗にも工夫してフォロー、対応していく
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	玄関周りに草花を植えたり、畑で野菜の栽培を行っている。収穫も入居者、職員で行い、楽しんでいる。気候のよい時は、テラスでお茶を飲んだりしている。		拘束感を与えず、気ままに出られる雰囲気作りに継続して取り組む

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<ul style="list-style-type: none"> ① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載) ゆったりとした、穏やかな生活を基本に、一人一人の生活のペースを大切に取り組んでいる。個々の気づきが適切な支援につながるよう専門性を活かした連携を意識し、「今日1日を大切に」取り組んでいる。家族との連携を大切にしている